

開腹胃切除の手術を受けられる

様へ

○心身共に安定した状態で手術が受けられ、術後合併症なく順調にすごすことができる

○退院の準備が整い早期に社会復帰できる

(この用紙は、入院時必ずご持参ください)

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日	月 日～ 月 日
経過	手術前日	当日（術前）	当日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6～7日目	術後8～9日目	(10～12日目)退院
目標	体調を整え手術にのぞめる	安心して手術が受けられる	術後の痛みや不快感を伝えられる	水分を摂取できる 看護師の付き添いで歩行ができる	食事のとり方が理解できる		食事形態が変わることになれる	順調に食事をとることができる 腸瘻の管理をマスターしていく		退院後の生活について不安なことを主治医や看護師に伝えられる	
検査				胸腹部のレントゲンと血液検査を行います  		胸腹部のレントゲンと血液検査を行います  			必要時、胸腹部のレントゲンと血液検査を行います  		
食事	夕食後絶食 21時まで水分可 朝食は自宅で  	絶飲食となります(経口補水液は朝6時まで可)	水分のみ可 (医師の指示による)	分割食(流動食)  	分割食(流動食)   	分割食(流動食)   	分割食(3分かゆ)   	分割食(5分かゆ)   	分割食(全かゆ)  	分割食(全かゆ)	退院日は朝食後に退院です
処置・観察	体温・脈拍・血圧を測定します  入浴前にお臍をきれいにします	 リストバンドを手首に装着します (退院日まで装着します) 歩いて手術室まで行きます	 手術後、酸素マスクをしています	 手術創の確認をします 尿の管を抜去します (2～3日目) 背中に入っている麻酔の管を抜去します (2～3日目)		 お腹の管を抜去します (4～5日目)	 手術創の確認をします			 退院時、リストバンドを除去します	
注射・内服	常用薬を持参し看護師に渡してください 就寝前に下剤を服用します 	引き続き点滴があります  手術後、抗生剤の点滴を行います 	血栓予防の薬剤を筋肉注射します。 					 7日目で点滴が終了します			
行動	シャワーしてください  制限ありません 	トイレを済ませ、手術着に着替えてください   入れ歯、時計、眼鏡、アクセサリーははずしてください 	ベッドで安静にしてください  術後、痛いときはお申し出ください 	歩行可となります(最初の離床は看護師と一緒に)  看護師が体を拭きます  手術着から寝巻きに着替えます			 シャワーできます(4日目以後)			退院となります	
説明	術前オリエンテーション 医師より説明 入院治療計画と麻酔について  看護師より説明 入院生活について  薬剤師より説明 お薬について 	医師より説明 手術の経過について 		栄養士より説明 栄養相談(術後2日目)病室で 		看護師から腸瘻の指導が始まります。		栄養士より説明 栄養相談(術後7日目)栄養相談室で 		医師より説明 退院後の治療について  看護師より説明 退院後の療養生活について  次回外来受診について 	

*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
 *入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
 *入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。